

年末年始の動きが各地でもある。とはいえ、高需要出そろってきたので、今号日ではあるので、きちんとではその概況について述べ、対策を打てば売り上げ最大たい。今年の年末年始は去化はできる日であるので、年と同じ傾向で、年始が4日からは29日も比較的需要在多、年始の需要が弱く、高いが、前述の日程ほどでなり、年末の需要が高くなる傾向にある。

必要である。

細かな日単位で見ると、難しいのが28日、3日であり31日の需要が突出しある。28日はエリアでいう

インターネット 第160回

徹底集客

ている。続いて1日、30日と「全ての施設が満室になるが既に満室となっている施るわけではないが、一部の設も多く、この3日間の需施設が満室になる需要の要が非常に高い。次いで2日」でも言うべき日であるとなるが、2日はどの施る。従って、ここは予約担設も昔からの慣習で「お正月特別料金」を設定している。きちんとコントロールするところも多(1日と同RevPARが最大化する料金の施設が多い)、一般の日である。また、3日に的に料金が高いので、1日については、最近では少なくとも需要がない分、予約状態になってきたが、やはり昔が況が伸びきっていない施設らの慣習でお正月3日は

WEB集客最前線(2016年度の年末年始対策)

「お正月特別料金」という設定の施設も依然残っている。4日からは見直しが必要だ。3日に泊まる人は少なく、3日に泊まる人は少なく、エリアによっては早々に平日料金設定で集客に努めている所もある。

念のために記載するが、25・27日は需要の谷となっており、同じ年末年始でも全く様相が違う。稼働優先施策を取るべき日程であるので、そうならない場合は見直しをかけてほしい。

もちろん地域差、施設の個体差はあるが、おおむね全国のエリアで同じような動きをしている部分を記載したので、これからの追い込みの参考にしてもらえれば幸いである。

(株)株式会社アヒリティコ
 サルタント・株式会社
 ライムコンセプト 内藤英賢 隔週掲載